

シラバス情報

| 授業方法 | 講義 ・ 実験 ・ 実習 | | |
|------------|---|---|--------------|
| 系 列 | 実 習 | | |
| 科 目 名 | 電装整備 | | |
| 必修・選択 | 必修科目 ・ 選択科目 | | |
| 対象学科 | 二級自動車整備科二輪自動車整備士コース | | |
| 年次学期・曜日・時限 | 2年後期 | ・ 月～水曜日 | ・ 1時限～8時限 |
| 時 限 数 | 60、8時限（期末試験を除く） | | |
| 担当教員名 | 廣石 泰大・川向 芳子 | | |
| 実務経験 | 有 ・ 無 | | |
| | 国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、二輪自動車の電装関連及びそれに付随する内容を総合的に整備する上で必要となる知識と技術についての実習を実施する。 | | |
| 授業の目的 | 二輪自動車の電装関連及びそれに付随する内容を総合的に整備する上で必要となる知識と技術の習得を目的とする。 | | |
| テキスト | ① 実習テキスト | | |
| 授 業 計 画 | | | |
| 授業回数 | テーマ | 内容・方法等 | 使用テキスト 範囲 |
| 第1回 | 始動系故障探究1 | 自動無段変速機車の始動装置関連故障を作り探究する、の内容でローテーションを組む | |
| 第2回 | 始動系故障探究2 | 6速マニュアル車の始動装置関連故障を作り探究する、の内容でローテーションを組む | |
| 第3回 | 点火系故障探究1 | AC-CDI、DC-CDI点火装置関連故障を作り探究する、の内容でローテーションを組む | |
| 第4回 | 点火系故障探究2 | フルランジスタ式点火装置関連故障を作り探究する、の内容でローテーションを組む | |
| 第5回 | 充電系故障探究 | 充電系関連の故障を作り探究する、の内容でローテーションを組む | |
| 第6回 | 始動、点火、充電故障探究の まとめ | 始動系、点火系、充電系システム回路復習。小テストを行う | |
| 第7回 | ボディ電装故障探究 | 灯火装置やホーン、メーター関連の故障を作り探究する、の内容でローテーションを組む | |
| 第8回 | | | |
| | ステップ試験（中間試験） | 第1回～第8回までの授業内容に関する実技試験 | |
| | 期末試験 | 第1回～第8回までの授業内容に関する実技試験 | |

| | |
|---------------|---|
| 到達目標 | 電装関連において現象と配線図（システム回路図）からサーキットテスタにて故障探究できる技術を習得する。 |
| 成績評価方法 | 平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、ステップ試験（中間試験）並びに期末試験を合算して行う。 |
| 定期試験受験資格 | 開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。 |
| 成績評価基準 | <p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>中間試験の点数 30% 期末試験の点数 40% 平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p>60～69点 = 可、70～79点 = 良、80～89点 = 優、90点以上 = 秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点 = 可とする。</p> |
| 成績評価できない場合の基準 | 全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、 又は、成績評価が60点未満の場合。 |